

印刷用 P D F 設定方法

2009年12月9日

株式会社ワコー

PDF作成時の基本設定

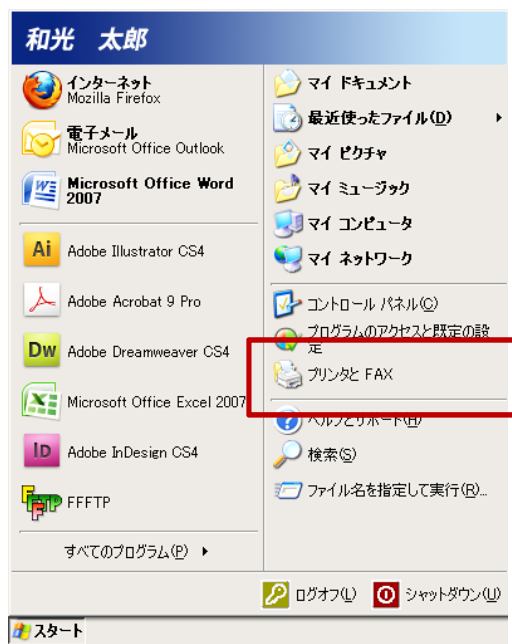
PDFを作成する際、次の設定を行ってください

1. フォントの送信
2. 印刷解像度
3. Post Scriptオプション
4. ジョブオプション
5. グレーテキスト/グラフィックスの変換
6. フォント代替表

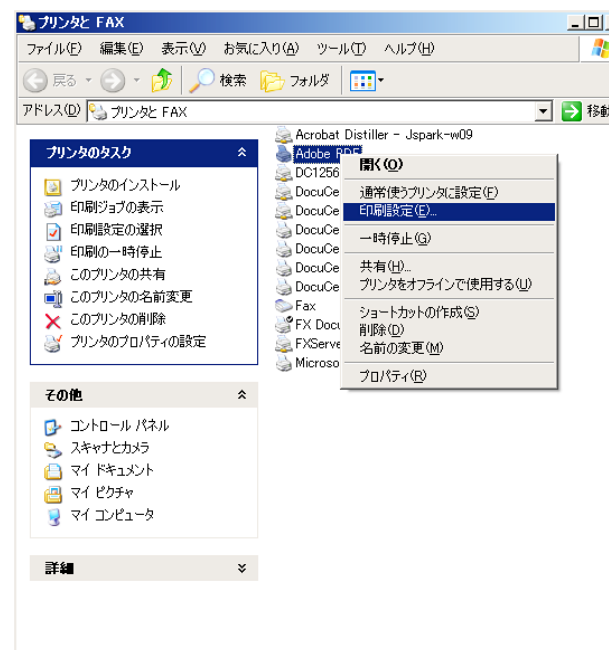
【操作手順】印刷設定画面へ

基本設定の1～4は次の印刷設定で設定をします

1 画面左下スタートから
プリンタとFAXをクリックします



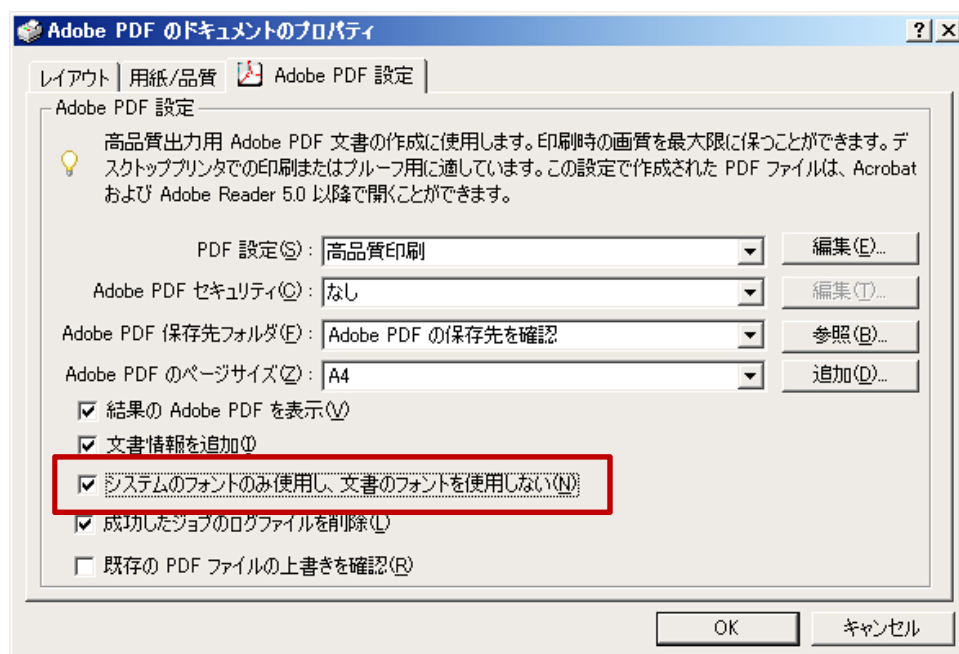
2 プリンタの一覧からAdobe PDFの
印刷設定を選択します



1. フォントの送信

設定内容 『フォントを送信しない』

- 1 フォントの送信設定を行うチェックボックスにチェックし
フォントを送信しない設定にします

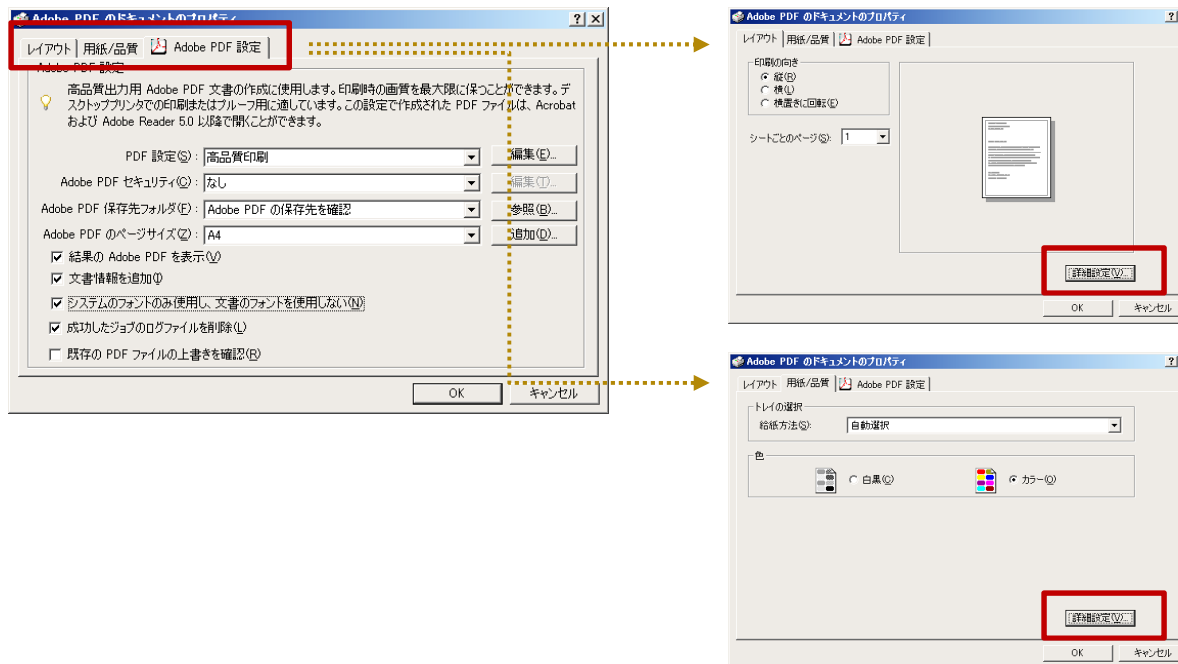


※バージョンにより文章が違います

2. 印刷解像度

設定内容 『印刷品質の解像度は600dpi』

1 レイアウト、または用紙/品質から詳細設定ボタンをクリックします



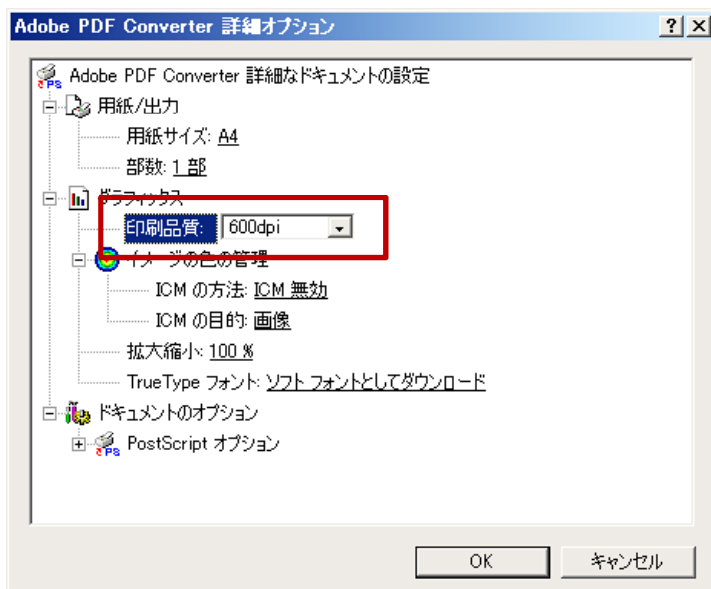
詳細設定ボタンをクリック
↓
詳細オプションが表示

※どちらでも同じです

2. 印刷解像度

設定内容 『印刷品質の解像度は600dpi』

2 印刷品質の項目を600dpiに設定します



Check! 解像度設定により、
ボールド文字や一部の罫線の太さが変わります

	300dpi	600dpi	1200dpi
通常文字	書体	書体	書体
ボールド	書体	書体	書体

低解像度 ← → 高解像度
ボールド/細い、目立たない ボールド/太い、つぶれる
罫線/太い 罫線/細い、かすれ

600dpiを標準として状況に応じて変更して下さい

例) ボールド文字がつぶれてしまう→低解像度に
ボールド文字が細くて目立たない→高解像度に
罫線がかすれる、太さが一定しない→低解像度に

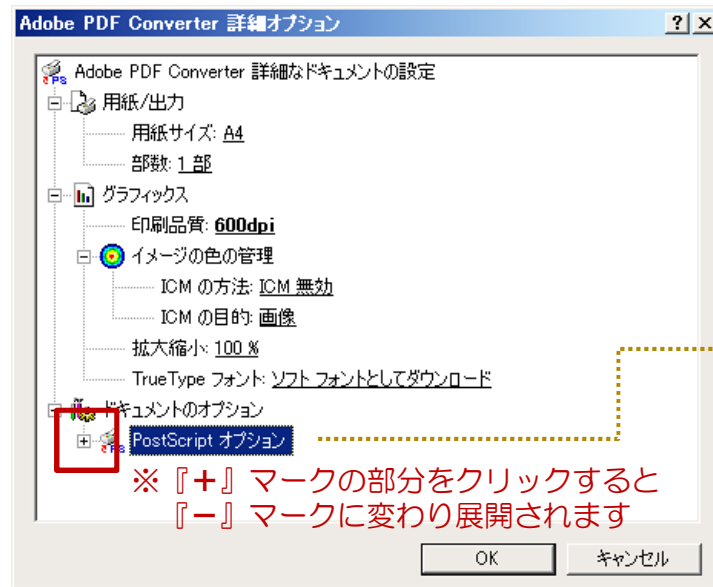
※塗りパターンにも変化があります ご確認ください

3. Post Script オプション

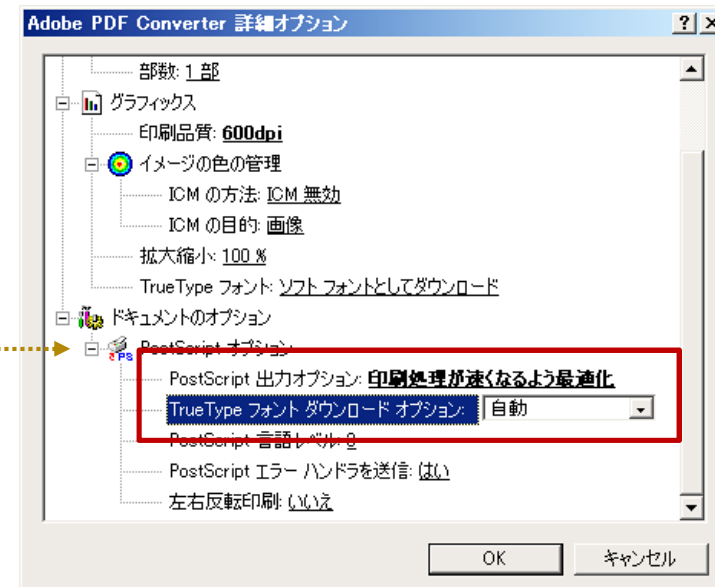
■ 設定内容 『出力オプション:処理が速くなるよう最適化』

■ 設定内容 『フォントダウンロードオプション:自動』

1 詳細オプションの
PostScriptオプションを展開します



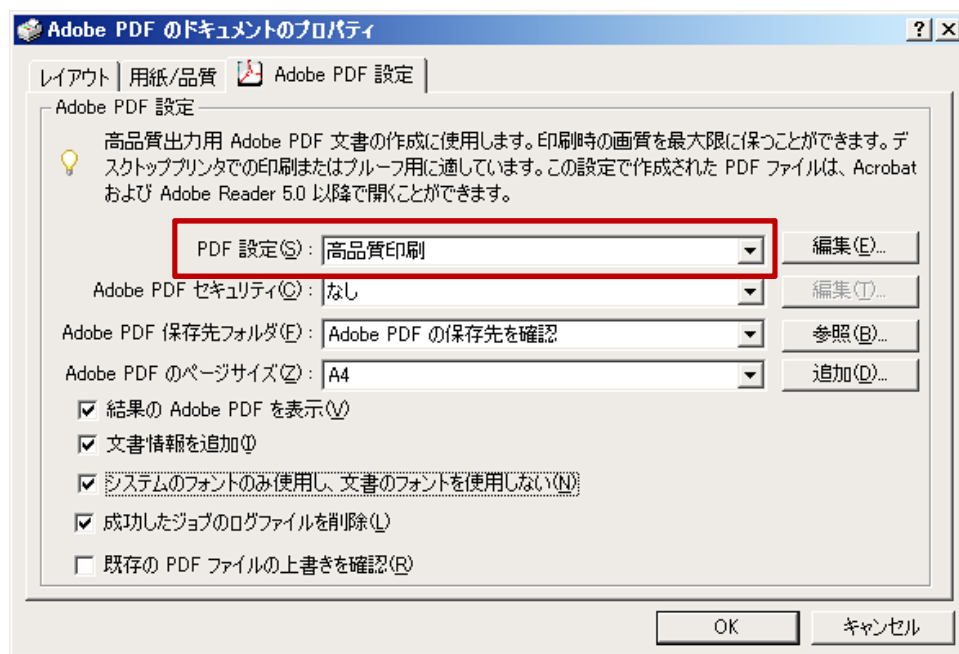
2 PostScriptオプションを
指定の値に設定します



4. ジョブオプション

設定内容 『PDF設定は高品質印刷』

1 PDF設定を高品質印刷にします



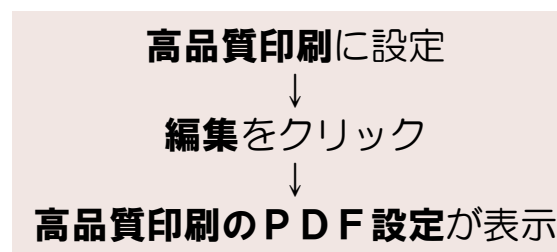
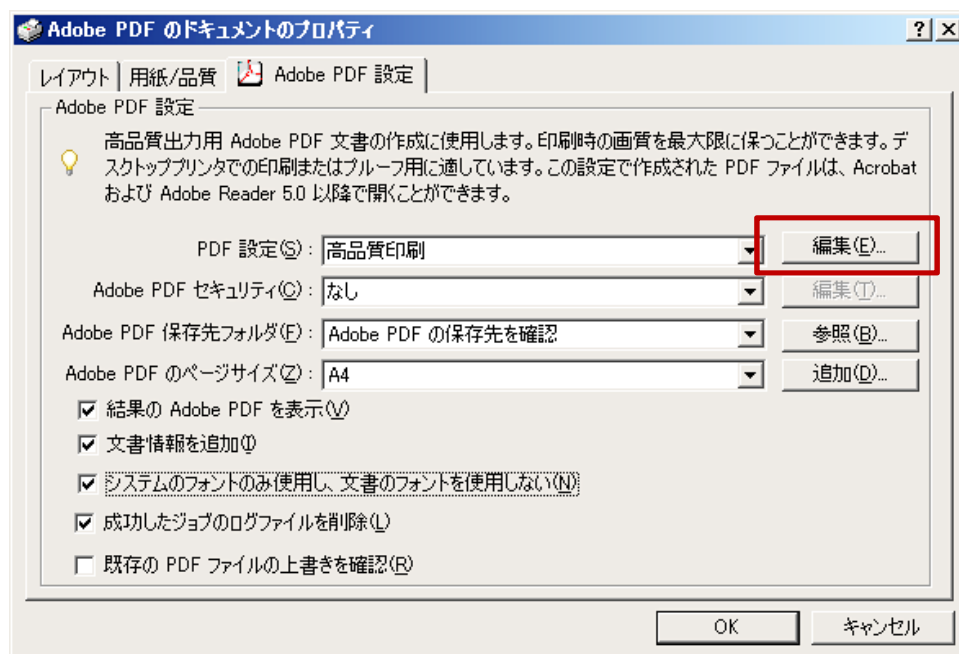
4. ジョブオプション

破線・飾り罫線がある場合

設定内容 『画像のダウンサンプルをオフ』

この設定はデータ容量が重くなります。
破線・飾り罫線がある場合のみにご使用してください。
不要にデータが重くなる原因となります。

1 PDF設定を**高品質印刷**にし、**編集**をクリックします



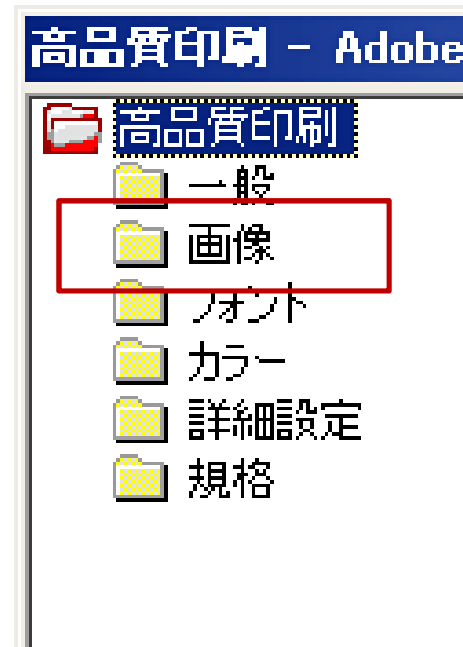
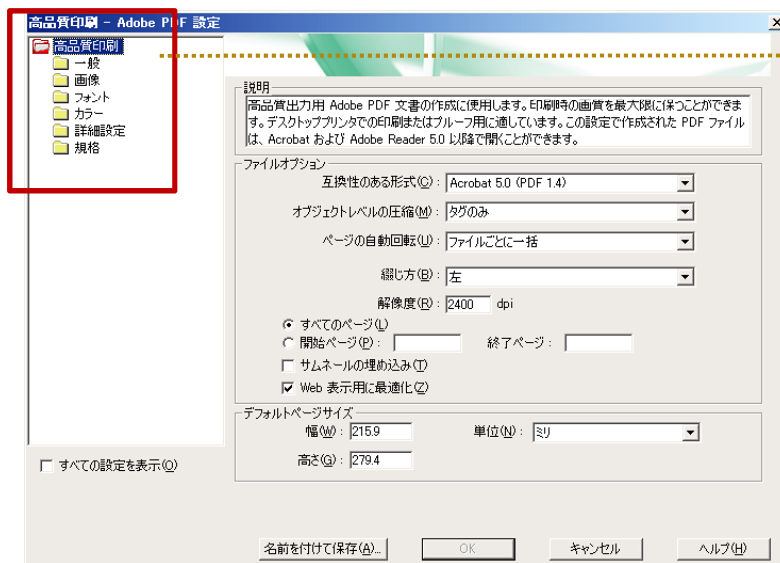
4. ジョブオプション

破線・飾り罫線がある場合

設定内容 『画像のダウンサンプルをオフ』

この設定はデータ容量が重くなります。
破線・飾り罫線がある場合のみにご使用してください。
不要にデータが重くなる原因となります。

2 画面左にあるメニューから**画像**を選択します



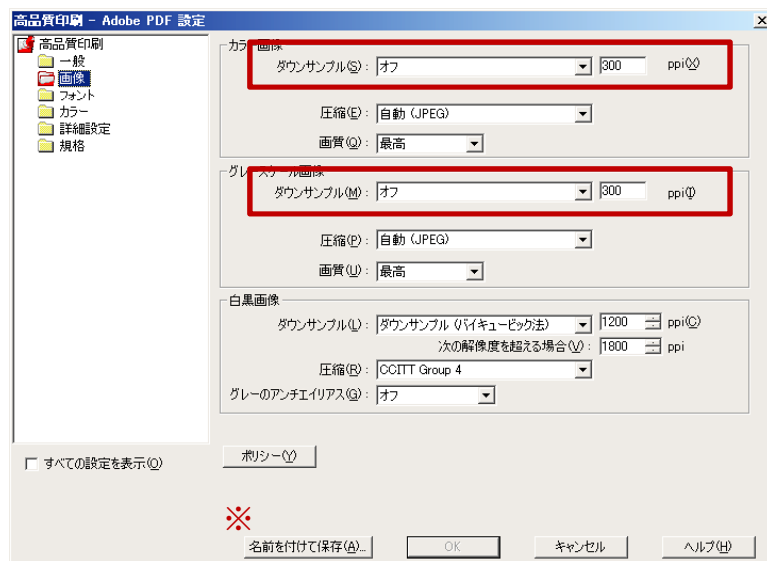
4. ジョブオプション

破線・飾り罫線がある場合

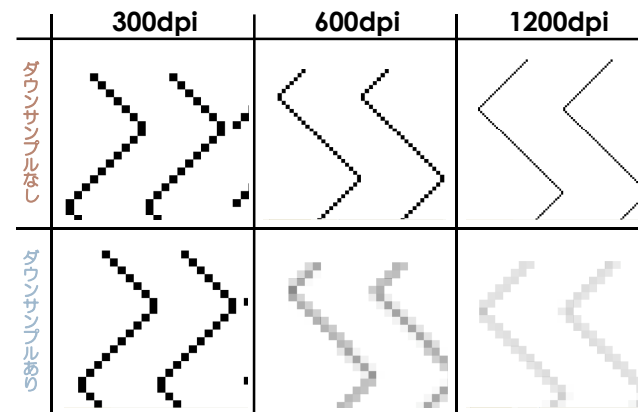
設定内容 『画像のダウンサンプルをオフ』

この設定はデータ容量が重くなります。
破線・飾り罫線がある場合のみにご使用してください。
不要にデータが重くなる原因となります。

3 カラー画像とグレースケール画像のダウンサンプルをオフにします



※設定を変更したら『名前を付けて保存』しておく
と便利です



ダウンサンプルなし

罫線が画像化され各解像度のドットで表現される。低解像度では点が大きいため印刷すると太い線に、高解像度では点小さすぎてかすれてたり印字されなくなる。

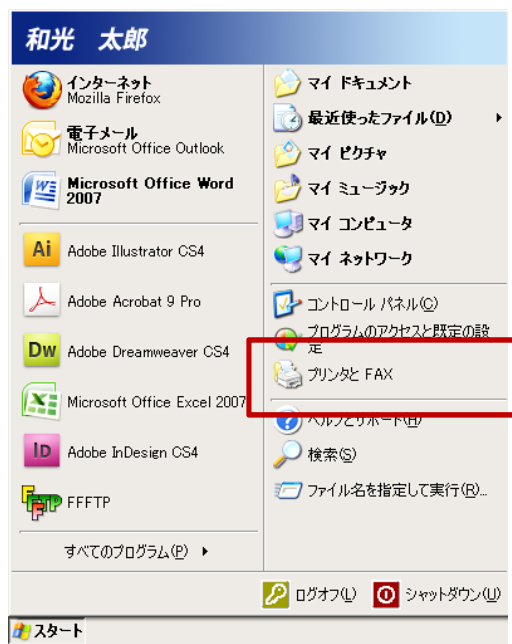
ダウンサンプルあり

罫線がバスではなく画像化されているのでダウンサンプルの対象となり、ハーフトーンの画像に変換される。ダウンサンプルの設定を300dpiにしているため元から300dpiの画像はダウンサンプルされず、変化がない。600dpiと1200dpiはカラー印刷ではかすれ、モノクロ印刷では消える部分もある。

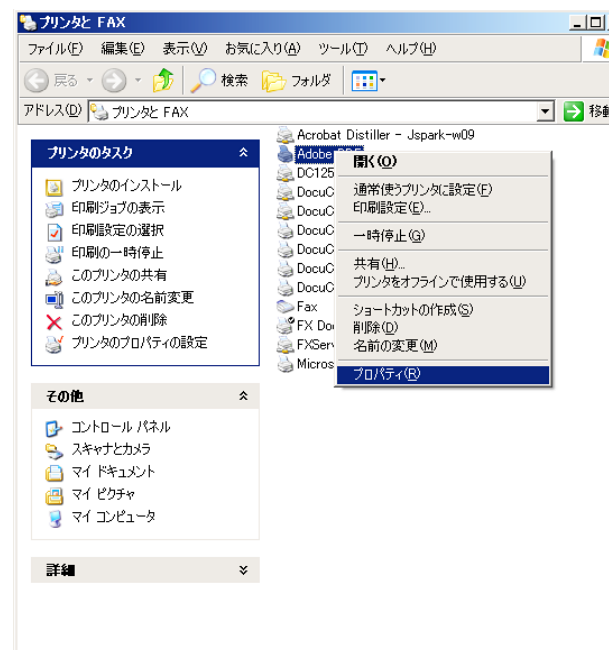
【操作手順】印刷プロパティ画面へ

基本設定の5～6は次の印刷プロパティで設定をします

1 画面左下スタートから
プリンタとFAXをクリックします



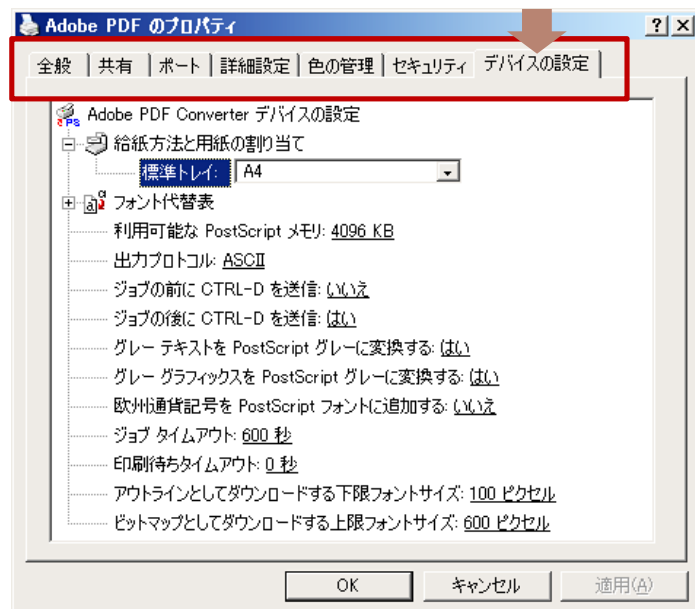
2 プリンタの一覧から**Adobe PDF**の
プロパティを選択します



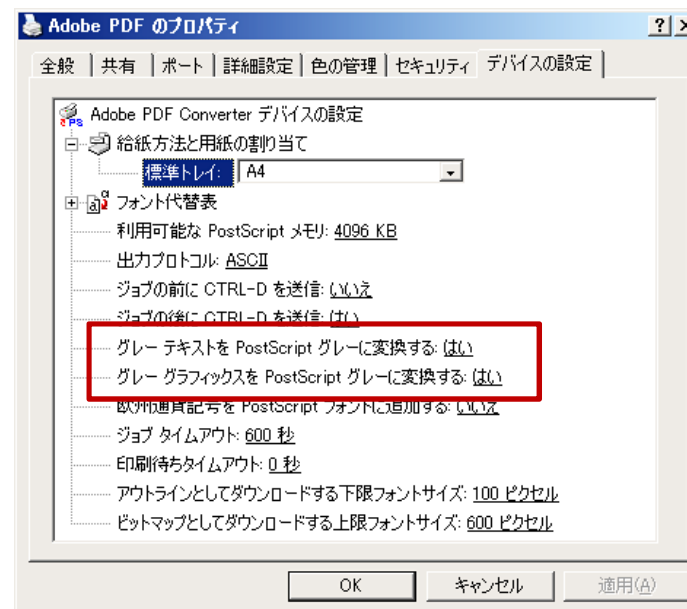
5. グレーテキスト/グラフィックスの変換

設定内容 『グレーテキストをPostScriptグレーに変換する』 『グレーグラフィックスをPostScriptグレーに変換する』

1 デバイス設定画面を表示させます



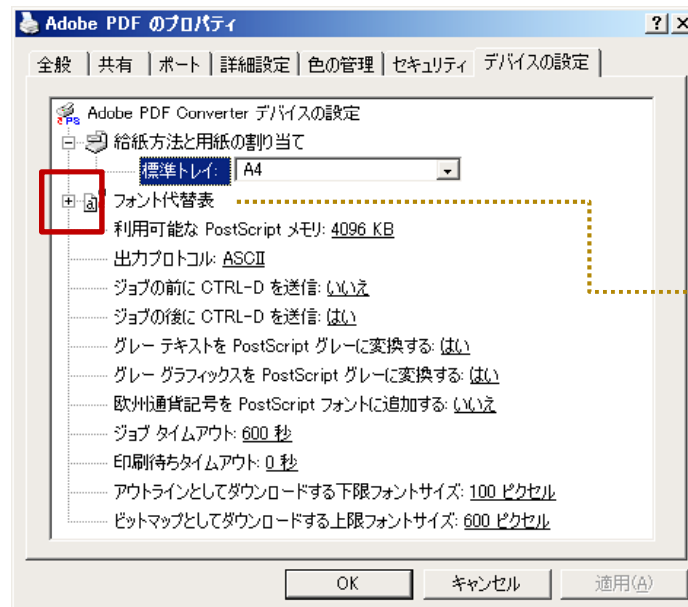
2 グレーテキストとグラフィックスを
PostScriptグレーに変換させる



6. フォントの代替表

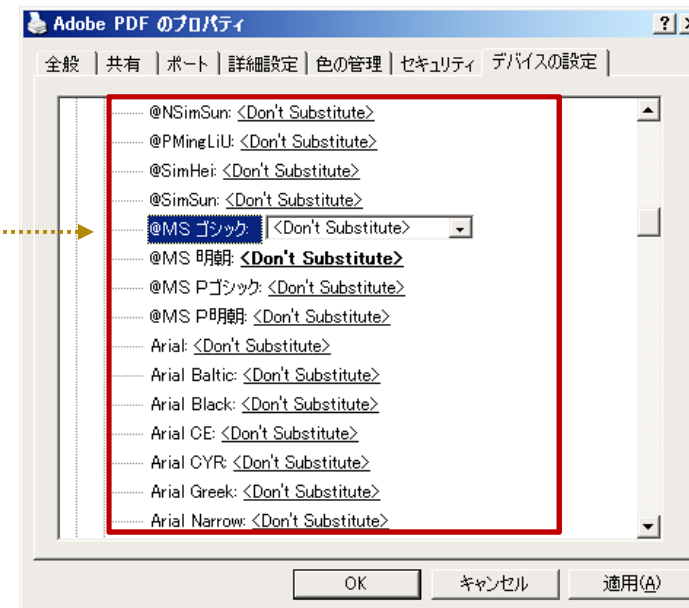
設定内容 『フォントを<Don't Substitute>』

1 PDF設定を**高品質印刷**にします



※ 『+』 マークの部分をクリックすると
『-』 マークに変わり展開されます

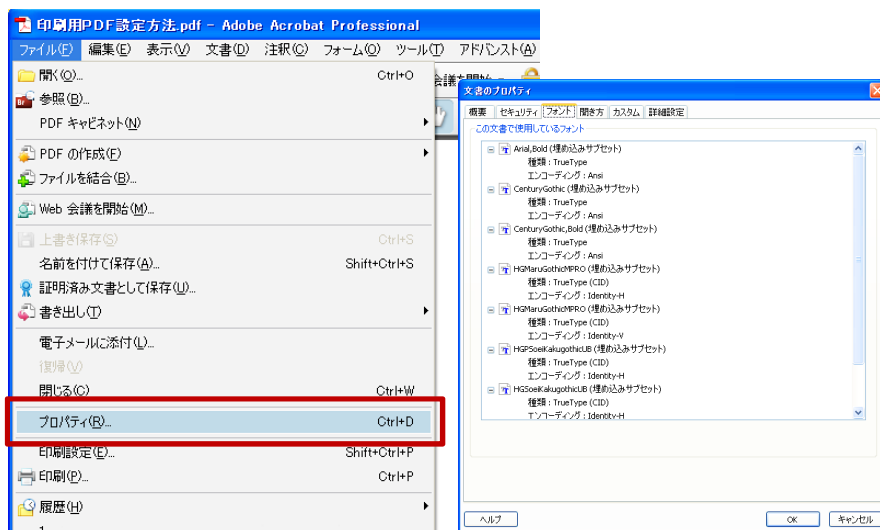
2 全書体を
<Don't Substitute>に設定する



【最終確認】 フォント/出力の確認

ご入稿頂く前に次の点をご確認ください

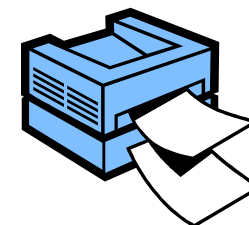
1 ファイルからプロパティを開き
フォントの埋め込みを確認します



フォント画面を見ていただき、
フォントが“埋め込みサブセット”になっているかを確認ください。

2 作成したPDFデータを出し
確認後、出力見本としてお渡し下さい

お客様の環境により、PDFを
作成したとき、元データと変わっ
てしまうことがあります。
一度、作成したPDFを出力して
ご確認ください。



出力見本は、PDF変換前のデー
タではなく、
ご入稿されるPDFデータから出
力されたものを見本としてお渡し
ください。

お客様の環境やデータによっては
上手くPDFが作成できないことがございます。
お困りの際は、
WACO担当営業までお気軽にお問い合わせ下さい。